

「わたし（イエス・キリスト）はあなたがたに平安を残します。わたしの平安を与えます。わたしは、世が与えるのと同じようには与えません。」

聖書 ヨハネによる福音書14章27節

皆様もご存知だと思いますが、先日、能登半島で震度7の地震が起きました。テレビでは毎日、復旧作業や支援活動の様子などが報道されています。

ところで、この地震ですが、「まさか!？」という時に起きてしまった印象があります。といいますのは、地震が起こったのは、元旦の午後4時過ぎでした。多くの方が帰省して、新年を迎えておられる時です。突如として地震は起こり、建物は壊れ、日常もめちゃくちゃになり、多くの方が避難生活を余儀なくされています。岡山に住んでいる私たちには、直接的な影響はありませんでしたが、私たちにとって関係のないことではなく、その危険はいつでもありうるのです。

そんな現代だからこそ、揺るがない平安を持っているならば、何と幸いなことでしょうか？

平安というのは、普段の生活の中で目立つものではなく、そのありがたみも感じにくいものです。それは、健康であることとよく似ています。誰しも健康でいられている時は、そのありがたみにあまり気がつかないものですが、いざ自分が何かの病気になると、それが当たり前でなかったことに気がつきます。

それと同じで、日常での平安というのは、気がつきにくいものですが、何かのことで、それが壊されてしまうならば、そのありがたみに気がつきます。特に最近、何が起こるか分からない世の中です。だからこそ、何があっても揺るがない平安を持てるのは、何よりも大切なことではないでしょうか。

では、その平安をどのようにして持つことができるのでしょうか？

金銭を蓄えることによってでしょうか？頑丈な家の中に住むことによってでしょうか？あるいは、人間関係を密に保ちいつでも助けてもらえる環境を作ることによってでしょうか？

しかし、それらは、揺るがない平安を与えてくれる土台にはなり得ません。なぜなら、金銭は、何かを手に入れる手段にしか過ぎませんし、どんなに頑丈な家も、その強度を上回る災害がないとも言えません。また人間関係を密にしたとしても、周りの人が助けられない状況になるかもしれません。何より人には、「死」という問題があります。死の前には、財産も家も人も太刀打ちできません。実は、この世には、揺るがない平安を与えてくれる土台はないのです。

しかし、唯一、私たちにそれを与えてくださるお方がおられます。その方は、神のひとり子イエス・キリストです。なぜなら、この方が与えてくださる平安は、絶対者である神からくるものであり、この世から出ていないからです。

まず、第一に、このお方は死に勝利されました。このお方は、御生涯の最後に十字架にかかられましたが、ご自身の約束通り、死後三日目に甦られました。これは歴史的事実であり、この当時、復活を見た目撃者は、男性だけで500人以上、女性や子供を含めると、もっとたくさんの者が目撃しています。またこの当時、ローマ帝国が地中海一帯を支配しており、ローマ皇帝を神として拝まなければ、殺される時代でした。そんな中であっても、弟子たちは、決してローマ皇帝を拝むことをせず、イエス・キリストのみを神として宣べ伝えました。その結果、ある者は火あぶりに、ある者は獣に食い殺され、ある者は十字架にかけられて殉職しました。もし、復活が嘘であるならば、誰も死ぬことはしないのです。

第二に、このお方は、死の原因である罪の問題を解決してくださいました。そもそも、人が死ぬのは罪が原因です。

最初の人アダムとその妻エバは、食べてはならない木の実を食べてしまった結果、彼らのうちに罪が入り、彼らは死ぬものとなりました。私たちは、そのアダムの子孫ですから、生まれながら罪を内に宿しており、死ぬものとなっています。それは、小さな子供を見るならば明らかです。どんな親でも、自分の子に悪いことをするようには教えません。ところが、子供は教えてもらってもないのに、誤魔化したり、悪口言ったり、喧嘩をしたりします。なぜ、それができてしまうのかというと、人は生まれながら罪を宿している罪人であるからです。それは、皆さまざま例外ではありません。人は生まれながら罪を持っており、罪を犯します。神様の基準は高く、悪口、喧嘩、意地悪、憎しみ、人ものを欲しがるなど、そのようなこと一つでもしてしまったならば、罪を犯したゆえに、死後永遠の地獄に行かなければならないのです。

しかし、イエス・キリストは、ご自身が十字架にかかることによって、罪の問題を解決してくださいました。キリストは、あの十字架の上で、私たちの犯した罪の罰を身代わりに受けてくださいました。そして死なれ、葬られた後、3日目によみがえり、天に帰って行かれました。今、誰でも、イエス・キリストを地獄からの救い主と信じ受け入れる者を、地獄から救い、永遠の天国に入れてくださいます。そしてここにこそ揺るがない平安の土台があるのです。

この救いをいただいているクリスチャンたちは、皆、この平安を持っています。これは机上の空論ではなく、実際的な平安です。殉教したクリスチャンたちは、平安のうちに死んでいきました。自分の行き先を知っていたからです。様々な問題で人が恐れるのは、突き詰めていけば、死を恐れているからです。人が金銭がないと不安になるのは、食べれなくなるからであり、その先にある死を想像するからです。

今、キリストは、ご自分を信じる者にその根本の問題である罪の赦しを与えてくださいます。

イエス・キリストをご自身の救い主としてお信じになってください。